

# 研究部ニュース 2023年度第1号

2023年7月20日(木)

発行者：研究部（花田、小森、大河、的場、辻、住岡）

平素は本校の教育及び研究活動にご協力いただきありがとうございます。今回の研究部ニュースは、今年度の研究の取り組みや研修活動を紹介させていただきます。

## 本校研究主題（全校研究）

### 知的障害教育における教育課程の編成と評価の一体化

令和4年度から3年計画で「知的障害特別支援学校における教育課程の編成と評価の一体化」についての研究に取り組んでいます。本研究は、児童生徒一人ひとりに応じた指導や支援、授業ごとの目標や評価の適正化を通して、学習指導要領に則った個別最適な学びの実現につなげていくことをめざします。今年度は、この研究経過についてを令和6年2月10日(土)の研究大会(2年次)で発表します。

また、本校では全校研究に加えて、特別支援教育の今日的課題に対応するためにユニット研究にも取り組んでいます。ユニット研究では、本学の先生や本校教職員が取り組みたい研究テーマについて、本学特別支援教育部門をはじめとする本学の先生方との共同研究として進めています。ユニット研究の成果の発表は、研究大会と研究紀要で行います。昨年度のユニット研究ポスターは本校玄関の掲示板に掲示しています。是非、ご覧ください。

## 平野五校園共同研究の研究主題

### 一人ひとりの多様な可能性を広げる評価のあり方(2) ～主体性が働く【探究学習】プログラムと 学習評価のモデル開発をめざして～

本校は大阪教育大学附属学校園の1校であり、平野地区に所属しています。平野地区には、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校があります。この五校園で共同研究に取り組んでおり、これを「平野五校園共同研究」と呼んでいます。

令和3年度から研究主題を「一人ひとりの多様な可能性を広げる評価のあり方(2)～主体性が働く【探究学習】プログラムと学習評価のモデル開発をめざして～」と設定し、3年計画の今年度は最終年となっています。子どもが自ら課題を発見し解決に向けて取り組む【探究学習】に焦点を当て、「主体性」を十分に働かせることで、より深い学びの実現につながるようなプログラムと評価モデルの開発に取り組んでいます。

五校園共同研究発表会は11月4日(土)に行います。

## 特別支援教育連続講座

### 「エクステンション研修」

本校は特別支援教育を推進していくセンター的役割を果たすため、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教職員、大学院生、大学生を対象に7月26日(水)・27日(木)の2日間、本学の特別支援教育部門の先生方等によるエクステンション研修を実施します。

令和5年度ユニット研究テーマ	共同研究者 研究協力者	本校 教職員
知的障害特別支援学校における運動機能の安定をめざした教育的介入の一考察	大内田 裕 先生	丹沢、金、深草、大原、村山、森、森下
知的障害特別支援学校における「さわる」を取り入れた美術鑑賞学習の実践的研究	正井 隆晶 先生	花田、保田
知的障害特別支援学校における課題関連図を活用した自立活動の実践の在り方	早野 眞美 先生	大河、花田、本多
知的障害特別支援学校の音楽科の授業における ontenna を活用したリズム指導	湯浅 哲也 先生	竹内、岩崎、森下
知的障害を伴う生徒の握力と巧緻性の関係性	大内田 裕 先生	大原、竹内、西川野崎、花田、的場村山、保田
学校教育における体幹の安定	大内田 裕 先生	本多、深草、野崎
知的特別支援学校におけるダンス指導モデルの活用に向けて ～自己意識及び他者との相互作用における変化に着目して～	西山 健 先生	竹内
特別支援学校における自己決定・自己選択の育成について	西山 健 先生	辻
知的障害がある子どもへの読み指導	野田 航 先生	白樫、西川、的場池村
知的障害特別支援学校高等部における卒業後を見据えた学び についてー卒業生への生活状況調査を通してー	今枝 史雄 先生	迫田

知的障害特別支援学校美術科における対話型鑑賞の実践的研究	今枝 史雄 先生 吉原 和音 先生 古谷 晃一郎 先生	花田
教員の学びあいの場の検討	餅木 哲郎 先生 冢近 早苗 先生	松本、池村、丹沢辻、迫田、住岡本多、森、森下
特別支援学校のシラバスの検討	今枝 史雄 先生	松本、金、野崎花田

令和5年度 エクステンション研修 講座名	講師
ファシリテーションボールメソッド(FBM) 基礎と体験	大島 昇 先生
特別支援学級における自立活動について	早野 眞美 先生
自分を大切にすること ～病気の子どものかかわりから～	平賀 健太郎 先生
視覚障がいとシミュレーションのあり方について	正井 隆晶 先生